

# EnOceanをNiagaraネットワークへ導入

Control Networks SolutionsはEnOceanネットワークやデバイスのためのネイティブNiagara AXドライバを開発しました。CNS-EnOceanドライバを使用することで、インターネット接続可能なNiagaraアプリケーションからEnOcean自己発電無線通信デバイスにフルアクセスすることが可能となります。

コントロールネットワークソリューション社常務理事マイク・ウェルシュは次のように説明しています。



Niagara AX用のCNS-EnOceanイーサネットトランシーバドライバはNiagara AXとエネルギーハーベスティング無線ネットワークを基にしたウェブ技術プラットフォームです。第三者のコミショニングツールは必要としません。この完全に統合されたドライバにより、EnOceanデバイスの検出・帰属・管理が容易であり、Niagara AXの環境になれているシステムインテグレータはEnOceanベースのエネルギーハーベスティング無線通信デバイスを簡単に扱うことができます。

## きわめて柔軟なシステム

このドライバを使用することで、電池レススイッチ、温度センサ、湿度センサ、CO<sup>2</sup>センサ、ヒートバルブアクチュエータなどといったEnOceanベースのデバイスをNiagara AXで容易に設定・管理することができます。I/Oデータマッピングやラベリングが不要なため、CNS-EnOceanドライバはコミショニング作業の時間を短縮できかつリスクを抑えることができます。

CNSのソリューションでは各建物の異なった要件に対応したビルオートメーションシステムを柔軟に構成することがで

きます。電気工事業者はリスク低減のほか、供給業者数を削減できコストの削減が可能となり利益向上につながります。また、システムインテグレータはビルオートメーション及び管理システムをより簡単に計画・導入することができ、お客様により良い製品を提供することができます。

## 利点

- ハードウェアの削減
- 設置費用の削減
- 複数のコミショニングツールは不要
- I/Oマッピングやラベリングが不要
- コミショニング時間、リスク、コストの削減
- CO<sup>2</sup>排出量の削減(システム起動以前も)
- 寄生電力の削減
- メンテナンスの削減
- 納入時、またはその後の運用及びメンテナンスの際にはベンダーに依存しない
- 従来のNiagara AXスキル及び人材の活用が可能

[www.CNS-Enocean.com](http://www.CNS-Enocean.com)

